

# 波佐見中学校学校便り

第25号

編集・発行

波佐見中学校

校長 池本敦司

## 令和7年生徒会役員引継ぎ式

### 旧役員への感謝と新役員の方決意

1月10日(金)波佐見中学校体育館で、令和7年の生徒会役員引継ぎ式を行いました。生徒会長が各専門委員長の任命を行い任命状を渡しました。また、令和6年の生徒会役員の皆さんが、これまでの仕事を振り返り感謝の言葉を述べました。

そして、校旗が令和6年生徒会長から新生徒会長に渡され、波佐見中学校の伝統が、形として継承されました。令和6年の生徒会は数多くのプロジェクトを本当にありがとうございました。

## 伝統の継承と創造



令和6年生徒会長から令和7年生徒会長に力強く渡された波佐見中学校の校旗。1月10日波佐見中学校体育館

朝の短学活の時間。正面玄関の前にある公衆電話を利用する生徒の姿。「〇〇を忘れたけん、すぐ持ってきて!」しばらくすると、その品物を職員室に届けられる保護者の方。かなりの回数このような光景を目にしました。

授業に必要なものを忘れて、学習ができなくて困るというのは理解できますが、保護者の方の時間と労力を奪ってまで、お願いしていいのでしょうか。

### 忘れ物どうしてる?

締切が迫っている書類やお金などはその限りではないでしょうが、忘れ物をした場合、自分が困ったり叱られたりするのもある意味「学び」だと思います。困れば、次から忘れないようにするためにはどうすればいいか考えます。生活ノートにメモを取る、前日からの確認や準備、当日の朝の確認など…忘れないようにする工夫を考えることも大切だと思います。

施し波佐見中学校の魅力が本当に高めてくれました。この後、新役員を中心に波佐見中学校の生徒会がまことまり、形だけではない中身のあり、形だけの継承をしてほしいと思います。また、新たな取組にも挑戦することでも期待します。令和6年の生徒会役員の皆さん、本当にありがとうございました。



贈呈式の様子 1月10日

1月10日(金)、絆の日を中心にご多の方々から預かった義援金を、石川県珠洲市の「創炎会」にお渡しする贈呈式をリモートで行いました。珠洲市は波佐見町と同じく焼物(珠洲焼)が有名な地です。創炎会の方々も大きな被害を受けていたことを知り、預かった多くの方々の気持ちをお届けして復興に役立ててもらおうと生徒会が企画しました。被害は私たちが想像する以上にひどく、その復興も多くの困難がいまだあることが、創炎会の方の話を聞いてわかりました。

## オモイを能登につなげよう 義援金贈呈式

### 校長日記

思いがつながると心が動くということをご数日、本当に実感した▼珠洲市創炎会への義援金贈呈。オンラインでの贈呈だったが、こちらから生徒会長がカメラ越しに目録を渡す。その動作に合わせて創炎会の会長が目録を受け取る。目録や義援金という「モノ」を実際に手渡ししたわけではないが願いや希望といった思いが双方でつながったと感じた。その瞬間に立ち合っていた涙があふれそうになった▼新生徒会の皆さんが新しいスローガンを提案。令和6年は「和綺(わあき)挨合(あいはら)」から令和7年は「CREATE」を見つけようみんなの魅力・可能性。中学校の魅力が高めるために、積極的に相手に伝わる挨拶、反応、学び合い、高めあい、それができるようになりたいという思いが詰まっている。令和6年生徒会から令和7年生徒会に確実に思いが伝わっている。令和7年も魅力向上が楽しみである。